

写真128 01004調査1トレンチ完掘状況(西から)



写真130 01004調査3トレンチ完掘状況(西から)

重機を用いて、現地表下105cm、標高40.86mまで掘り下げた。旧表土面から約55cmの盛土を行っており、旧表土面から約50cmの深度である。現地表下から掘削面まで基本層序 I 層が続いていることを確認した。1トレンチと同様の判断で、以下に関しては現地保存とした。遺物は出土していない。

## 4トレンチ (写真131)

重機を用いて、現地表下75cm、標高41.12mまで掘り下げた。旧表土面から約45cmの盛土を行っており、旧表土面から約30cmの深度である。現地表下から掘削面まで基本層序 I 層が続いていることを確認した。1トレンチと同様の判断により、掘り下げ停止面以下に関しては現地保存とした。遺物は出土していない。



写真129 01004調査2トレンチ完掘状況(西から)



写真131 01004調査4トレンチ完掘状況(西から)

## 3. まとめ

今回の調査では、溶液回収タンク接地部分である 4ヵ所で発掘調査を行った。工事に伴う掘削深度は、 いずれの地点でも遺構面まで到達しないことから、現 地保存という対応を行った。今後、本調査地点で掘削 工事を行う際には、発掘調査を実施する必要がある。

(三吉)

## 愛媛大学埋蔵文化財調査室年報

- 2010年度 -

愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXIII 2012年 3月21日

- 発 行 愛媛大学埋蔵文化財調査室 〒790-8577 松山市道後樋又10番13号 TEL·FAX 089-927-9127
- 印刷 原印刷株式会社 〒799-1594 今治市喜田村1丁目2番1号 TEL 0898-48-5511